

1982 (昭和57年)

会員数68名



31代理事長  
宮本利之

昭和57年、宮本利之理事長のもと青年として我々は何をなすべきか！今こそ勇気をもって行動を起こす時間と活動が開始された。この年の前半は6月6日の第12回愛媛ブロック会員大会の成功に向けて、愛媛のリーダーとしての自覚とメンバーの結束を叫びつつ準備を進めた。



楽しかった家族会（大島にて）

式典当日参加者400名余りを迎え入れた開会式及び全体会場である市民会館中ホールは全く手狭という感じであった。その熱気の中で順調に会は進行され席上次期ブロック長に宮本理事長が推薦された。分科会では坂本武OBによる経営開発セミナー、広報の激写会等バラエティーに富んだ内容であった。又伊方原発の見学も行なわれこれからのエネルギー問題を考える上で原発の重要性を大いに考えさせられた。その後開かれた懇親会では会場は超満員となり八幡浜の海の幸を堪能したあと余興として富くじ大会が行なわれた。1枚千円の富札もまたたく間に600枚を売りつくし他ロムのメンバーにも大いに喜んでいただけた。楽しい余興として今後他ロムの懇親会においてもたびたび実施された様である。

本年は「行政改革推進特別委員会」がもうけられ、行政に関して我々の足腰をきたえるという方針で各分野に分かれて勉強し、一方「市行政の勉強会」「出石寺一泊セミナー」「パネルディスカッション」の3回のセミナーも行なわれるなど熱心に取り組むなどメンバーの意識の向上がはかられた。



当時の高橋・吉見県議とのトップ対談

又、今年ではじめてのころみとして、入会希望者に対する仮登録制がとり入れられ、実施された。この仮登録制度においては準会員の方より事業に参加できるJCの事業を少しでも理解する事が出来たと大変好評であり以後現在までこの制度が続けられている。

その他、知念副会頭を招いてのJC講座、困難に打ち勝つ経営力をつけようと開催した経営スクール、鍛えよう心と身体、育もう自立心のテーマのもとで行なわれた青少年体験合宿、530運動の標語募集、渡部浩之氏を招き「不況下に生きる」と題しての講演会の開催。また北浜、本町、田中町と分散開村となったおまつり村は天候にも恵まれ、予想以上の入出に無事終える事が出来た。40周年に向けて新たな一歩がふみ出されたのである。



第12回愛媛ブロック会員大会（6/6）



第12回ブロック会員大会懇親会主管理事長挨拶



卒業式懇親会忘年会4名のメンバーが卒業

1983 (昭和58年)

会員数62名



32代理事長  
池田有造

1月1日、新年恒例の合同祝賀会が180名という多数の来賓メンバーを集め行われた。その席上池田有造理事長より「開拓期、成長期を経て成熟期を迎えようとしている青年会議所“見つめられる組織”から“期待される組織”へと脱皮しつつある時期にきています！」と提言された。本年の重点事業として次の4つがとり上げられた。

- 1、市民アンケートの実施
- 1、八幡浜児童合唱団の10周年記念の推進
- 1、明日への祭りづくり研究
- 1、JCメンバー間のチームワークの強化

市民アンケートの完全実施に於ては1月10日の委員会を皮切りに松山商大井上教授を招いてサンプリング及び調査方法についての学習会を開くなどメンバー全員が各担当に分れ設問作りから始め、八幡浜市民1000名にアンケート設問を配布。回収に廻りその集計結果を基にグラフを作成し分析、提言のとりまとめが始められた。連日の深夜に及ぶ委員会により12月には報告書が完成。メンバー間のチームワークの強化という目標も十分に達せられたのである。

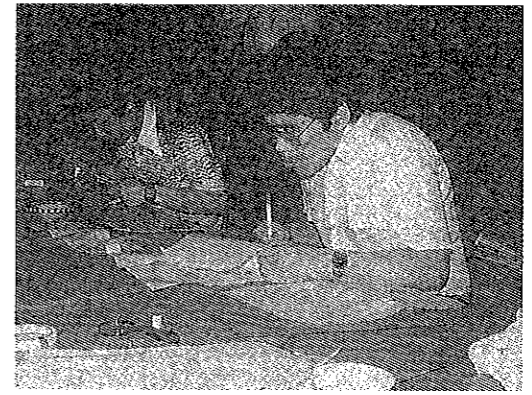


宮本プロ長より次年度桑原プロ長へバッチの引き継ぎ

八幡浜児童合唱団の10周年記念の推進においては昨年より準備がすすめられてきた念願の組曲も世界的に有名な桐明学園学長三善晃、谷川俊太郎両氏によるオリジナル組曲“わらべうた”7曲が完成し8月7日の愛唱連に於て連日の猛練習の成果を発表、関係者より多くの賛辞をいただいた。12月25日には創立10周年記念定期演奏会が行われた。全メンバーの協力により大成功に終わった。

明日への祭りづくりの研究においては、お祭り村の目的であるつくる喜び、参加する楽しさという意義をより広く、より多くの人達に味わって頂く為に、若い人達を中心としたお祭りづくりをめざし、お祭り村の主管をおいて、違ったかたちでお祭り村に参加した。本年度より本町、田中町より北浜臨港道路へ場所が変わり広い道路を利用した新しい企画の出演。高さ8mの札幌時計台を作りとり行なわれた“でっかいどう北海道”では北海道の毛ガニ、じゃがいもなど特産品の即売など市民にも好評を博した。今後のお祭

り村の方向づけにもなる一石が投げられた。

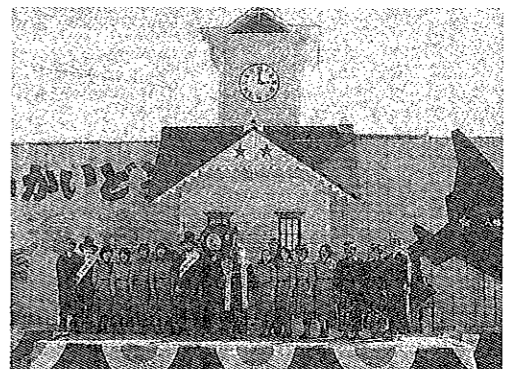


市民アンケート調査集計作業

これらの重点事業の他、例会のあり方を考え1時間例会の励行、例会後の委員会アワー堀田建設社長をむかえて6JC経営開発交流会、大島におけるLD道場、530運動の5周年、3回にもおよぶ家族会など、一人一人が協力し大きな事業をやり終えたことで友情の輪が大きく広がった一年であった。



八幡浜みなと祭り“でっかいどう北海道”  
クラーク博士像 私はだれでしょう？



八幡浜みなと祭り・でっかいどう  
北海道時計台ステージにて



連日のアンケート集計作業